

オニオコゼ

夏本番を迎え、少し気になる出来事がありました。6月下旬、さとうみ磯浜で定期的に行っている生き物調査で、大きさ15cmほどのオニオコゼが2尾見つかりました（写真）。

オニオコゼの背びれには毒があり、刺されると激痛におそわれます。オニオコゼは、海底の砂の中に背びれを立てて埋もれていることが多く、足で踏みつけたり海底を手探りしている時に刺されてしまうことが多いようです。

これから磯遊びで海に入る機会が増えます。裸足ではなく運動靴などでしっかり足を保護し、むやみに海底を手探りせず、よく確かめるようにしましょう。

以上のようにオニオコゼは危険な魚ですが、漁業対象種でもあり、白身で刺身や唐揚げにしておいしい魚です。

